



(写真右)新生橋の上から見た野洲川下流。(同左上)地層が露出する河川敷。(同左下)湖南市総合体育館前にある足跡化石メモリアルパーク。



野洲川

伝説と歴史の舞台を歩く

DATA 湖南市

- 歩行距離▶約5km
- 歩行時間▶約1時間30分

古琵琶湖層から発見!? 古代ゾウの足跡化石

1993年に多賀町で古代のアケボノゾウの全身骨格の化石が発見され、多くの人々を興奮させた。その5年前には、野洲川の河川敷でアケボノゾウの足跡化石が大量に発見されていたのだ。

甲賀市の水口から湖南市にかけての野洲川中流域は、約200万年前にあった古琵琶湖層群と呼ばれる地層が露出する希少な場所。2004年には台風の影響で河床の土砂が流され、露出した粘土層から鮮明なアケボノゾウの足跡化石が新たに見つかり、大きな話題となった。

アケボノゾウはステゴドン科の小型ゾウで日本の固有種。化石は日本各地で発見されているそうだが、このあたりを古代ゾウが闊歩していたと思

像するだけで、わくわくする。場所は湖南市岩根の新生橋付近の河川敷。案内等はないので水際をじっくり観察してみたい。激流に削られたと思われる地層が露出し、周辺では粘土質の層が段状になって、大小のくぼみがいくつも確認できる。風化して形が不鮮明のため、それが足跡化石な

野洲川ではゾウやシカの足跡、ワニの歯などの化石の他に、メタセコイヤなどの植物化石も見つかっている。足跡化石メモリアルパークでは当時野生していた種類の植物も見ることができるので要チェックだ。写真下は約200万年前の琵琶湖畔の様子を描いたプレート。



のかどうか、素人には判断し兼ねるが、思わず時間を忘れて夢中になってしまえそう。水位の変化で地層の露出状況が変わることもある。常に観察できるわけではないので念のため。また、ダムでの放水等による急な増水にも注意が必要だ。

モデルコース

- JR三雲駅 20分
- 新生橋 10分
- 野洲川河川敷 10分
- 足跡化石メモリアルパーク 3分
- 保健センターバス停 15分

※ 保健センターからJR甲西駅までコミュニティバス「めぐくん」で約15分
 ※ 移動時間はあくまでも目安です。



“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意図があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな“近江”という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!
<http://www.keibun.co.jp>